

## 第9講から第10講補充までの略解

\*\*\*小学校では、立式において、単位を付けません。以下では意味を明白にする為に、単位を付けました。\*\*\*

### 第9講

- 18) 1)  $10 \text{分} \div (2/3)$   
2)  $6 \text{週間} \div (3/10)$   
3)  $12 + 60 \times ((15 - 12) / 15)$   
4) バット代を1とする。  
1日に貯まる金額 =  $1/20 + 1/30$   
所要日数 =  $1 \div (1/20 + 1/30)$

### 第10講

- 5) 所要時間 = (全水量)  $\div$  (1分当たり水量) =  $1 \div (1/10 + 1/15)$   
6) 池の周の長さを1とする。所要時間 = 距離  $\div$  (単位時間当たりの距離)。  
①  $1 \div (1/4 + 1/6)$   
②  $1 \div (1/4 - 1/6)$   
7) Bに対するAの比 = AのBに対する比 = A : B  
短針の回る角 : 長針の回る角 =  $30^\circ : 360^\circ = 1 : 12$   
8)  $9.6 \text{ km} \times (7 / (7 + 5))$

### 第10講補充

- 9)  $150 \text{分} \div (3/5) = 150 \text{分}$   
10) ノート1冊の値段 =  $330 \text{円} \div (7 \text{冊} + 2 \text{冊} \times 2)$   
鉛筆1ダースの値段 = ノート1冊の値段  $\times 2 \times 2$   
11) 12分電車は、1回の発車ごとに、10分電車との発車の時間差を、2分生む。  
① 12分電車にとって、10分電車との発車の時間差が10分貯まれば良い。  
 $10 \text{分} \div 2 \text{分} = 5$ より、5回の発車で貯まる。  
答 =  $12 \text{分} \times 5 = 60 \text{分}$   
② 12分電車にとって、10分電車との発車の時間差が、あと(10 - 4)分 = 6分、貯まればよい。  
 $6 \text{分} \div 2 \text{分} = 3$ より、3回の発車で貯まる。  
答 =  $12 \text{分} \times 3 = 36 \text{分}$